

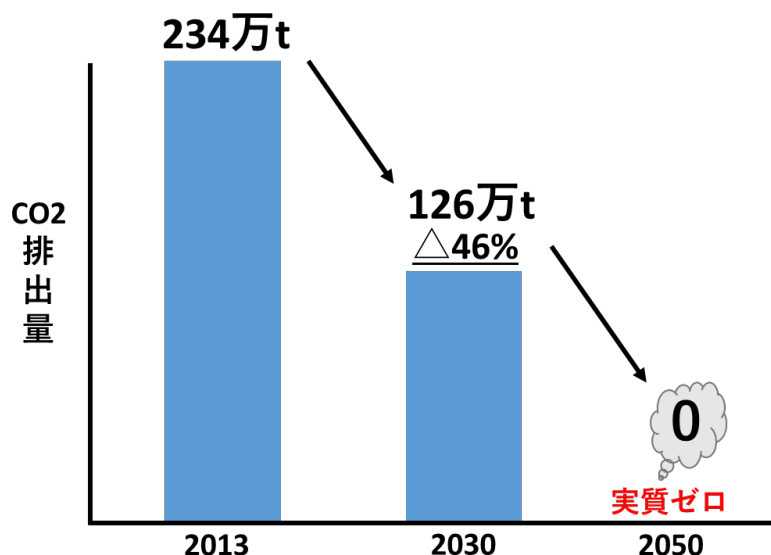
環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン 2050」

- ・JR西日本グループは、中期経営計画 2022 において、めざす未来「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」に向けて、地域共生企業として「訪れたいまち、住みたいまちづくり、安全で持続可能な鉄道・交通サービスの実現に取り組む」ことをありたい姿として掲げています。また、昨年 10 月に公表した中期経営計画 2022 見直しにおいては、SDGsの観点から「将来世代を含め、誰もが生き生きと活躍し続けられる西日本エリアの実現」をめざし、安全・安心、地域共生、地球環境の3分野を重点分野として取り組みを進めています。
- ・その中で、地球環境分野については、地域の豊かな自然や文化を保全し活用しながら、公共交通機関を基軸とした地域社会の持続的な発展につなげていくことが大切との考え方のもと、これまでも「省エネルギー車両導入率」をはじめとする環境に関する目標を設定し、CO2排出量削減に取り組んできました。
- ・今回、あらたに環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン 2050」を策定し、2050 年にJR西日本グループ全体のCO2排出量「実質ゼロ」をめざします。
- ・これらの取り組みにより、脱炭素社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。



1. 環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン 2050」

2050 年にJR西日本グループ全体のCO2排出量「実質ゼロ」をめざします。
その達成に向け 2030 年度にCO2排出量 46%削減（2013 年度比）をめざします。

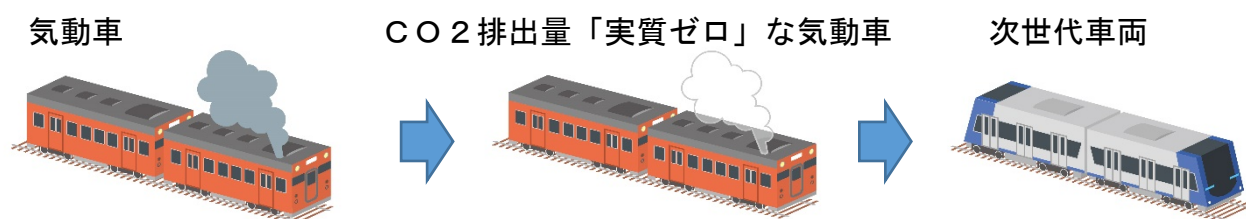


2. 環境長期目標達成に向けた取り組み

(1) 新技術による鉄道の環境イノベーション

新技術を採用することにより鉄道の環境イノベーションを推進します。その1つとして気動車で使用している軽油燃料を次世代バイオディーゼル燃料に置き換えることで気動車のCO₂排出量「実質ゼロ」の実現をめざしており、これに向けた実証実験を検討しています。

将来的にはカーボンフリーの次世代車両への転換を検討していきます。



(2) 省エネルギーのさらなる推進

当社は、これまでも省エネ車両や設備を導入することで、省エネルギーに努めてきました。今後も、省エネ車両 100%化※をはじめ、省エネルギーをさらに推進していきます。

※省エネ車両導入率：89.5%（2020 年度末）

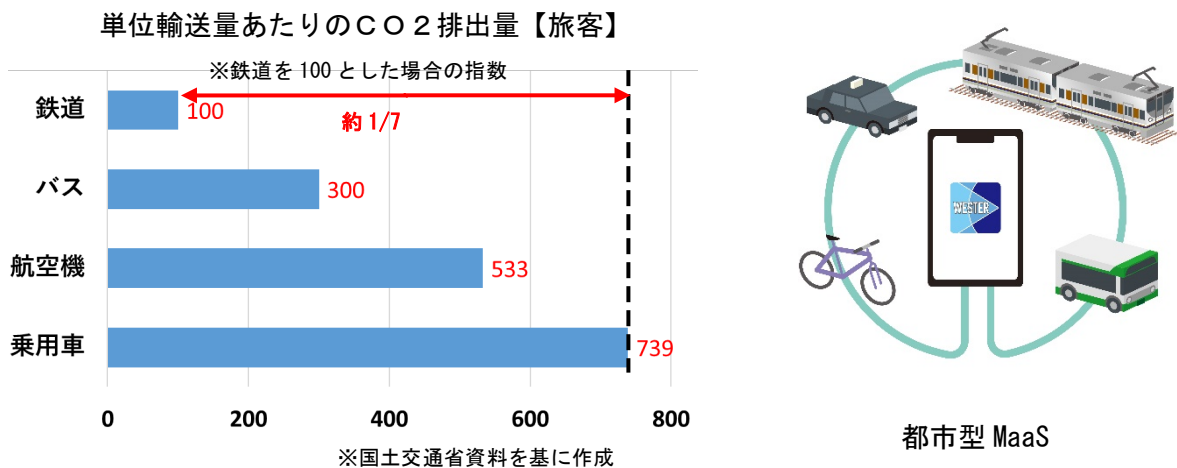


省エネ車両の導入

(3) 地域との連携による脱炭素社会実現への貢献

- 鉄道は、その特性が発揮できる都市圏及び都市間輸送において、単位輸送量あたりのCO₂排出量が少なく地球環境にやさしい輸送機関であり、加えて、MaaSを活用して誰にでも移動しやすい環境を整え利便性を向上することで、鉄道を含む公共交通機関全体としてグリーンでスマートな交通をめざします。

その中で、これまで以上に鉄道を選択していただくことにより運輸部門全体のCO₂排出量の削減に貢献していきます。



なお、鉄道の特性が発揮できないと考えられる線区については、環境の面から地域に適した持続可能な交通体系を地域とともに検討していきます。

- 脱炭素社会の実現に向けては再生可能エネルギーの拡大が必要不可欠です。当社は、これまでも当社管内において地域と連携し、太陽光発電やバイオマス発電の事業への参画を進めてきました。今後は、成長分野である洋上風力発電にも注目し、さらなる再生可能エネルギー事業への参画を検討していきます。
- これからも、地域との連携により脱炭素社会の実現に貢献していきます。

